

令和3年度 東京情報大学総合情報研究所プロジェクト研究
研究実績報告書

1. 研究課題名

千葉市の地域活性化のための映像制作と PR 映像の活用方法の検討

2. 研究組織

区分	氏名	所属・職名
研究代表者	藤田 修平	総合情報学部 総合情報学科・准教授
研究分担者	浅川 順	総合情報学部 総合情報学科・教授
	樋口 大輔	総合情報学部 総合情報学科・准教授

3. 連携先団体等

団体名	連携部署
千葉市	経済農政局経済部観光プロモーション課国内集客班

4. 研究期間

2021年4月1日～2022年3月31日

5. 研究の目的

コロナ感染症の収束後に来日が期待される外国人観光客に向けて千葉市に魅力を訴える PR 映像制作と、地域に住む外国人やその暮らしを取材・紹介し、それを地域の魅力として取り上げて、地域の再発見(マイクロツーリズム)につなげ、同時に住民の相互理解を促進することを目的とする映像制作を行うこと。そして、制作した PR 動画をできるだけ多くの人に見てもらうための分析と新しい方法を提案すること。

6. 研究報告

5月上旬に第4波と呼ばれるコロナ感染者増加があり、5月下旬に千葉市観光プロモーション課と話し合いを行い、コロナ禍での適切な感染対策がとられていない動画を、千葉市の YouTube 等で公開しない方針が伝えられ、これまでの撮影素材が使えないこともあり、今年のシティセールスビデオの制作は見送りとし、来年に向けた準備期間とすることになった。その後、感染者が大きく減少したので、2つの班で制作に向けたリサーチと連絡を始めたが、7月から感染者数が急増し、学生は大学に来ることができず、一旦中止となった。後期から再開したが、文化交流に関する秋のイベントがほとんど中止となっており、その後の状況が予想できないため、学生には他の活動に参加してもらうこととして、再度、停止し、年が明けてから、留学生を中心としてこのプロジェクトを一部、再開した。こうした事情で、樋口ゼミに参加いただいていたが、協力を依頼する段階に至らなかった。

7. 成果の公表

準備期間として行ったリサーチと撮影を引き継いで、作品を千葉市に提出する予定である。

8. 総評

今年は準備期間となったこともあり、千葉市に総評をお願いすることは見送りとさせていただきます。